

自然体で接しながら社員一丸で協力体制

あい♡サポート企業

鳥取市

(株)ハウスケアサービス



▲シュレッダーを使った廃棄作業。事務所に来ると、専用の箱の中にたまった資料を片付ける

<概要>

所在地／鳥取市商栄町135

代表者／代表取締役社長 梨原奨

事業内容／清掃用品(マット、モップ)のレンタル、
オフィスの定期清掃・保守、害虫駆除

職員数／5人

あいサポート企業になったきっかけ

知的障がいのある子ども(23歳)を持つ社員がいた。7、8年前から学校帰りに事務所に立ち寄るなど社員と交流があり、自然な流れの中で2010年10月、あいサポート企業に認定された。現在は事務所に立ち寄ったときに1時間ほど、軽作業を手伝っている。



▲社員にコーヒーを入れるのも日課のひとつ。「半分」「ブラック」など、コミュニケーションを通して人の好みも覚えた

あいサポート運動の

取り組み内容

障がいを特別視せずできることをしてもらおうと、シュレッダーを使った資料の廃棄作業を担当させた。最初は遊びの感覚で一緒に作業しながら、やり方を覚えた。今ではゴミ捨てからシュレッダーが詰まったときの直し方まで、ほぼ1人で対応できるようになった。

障がい者本人の話

シュレッダーが詰まらないように3枚ずつ入れていきます。詰まったときはゴミを捨てます。シュレッダーの仕事が大好きです。

保護者の話

物事を理解することが難しいので、いかに分かりやすく伝えるかが大切。一つひとつ根気よく、小さなことを積み重ねながら覚え、正確にできるように近づいている。事務所に来ようになって、あいさつや静かにすることなど、その場にあった立ち居振る舞いができるようになってきた。社員全員に育ててもらっている。誰かのために何かをするのが好きで、人に『ありがとう』と言ってもらえるのがうれしいようです。

総務・川口恵理さんの話

日々のコミュニケーションの積み重ねにより、彼女が何を思っているのか理解できるようになりました。心の壁を作らず、相手の立場に立って会話をしよう心がけています。私たちが一緒に学ばせてもらっています。

活動を行って

苦労したこと、工夫したこと

- 理解できるように伝える
 - ・資料のどちらが上か下か、絵やシールを付ける
 - ・(シュレッダーに紙を)「たくさん入れる(と詰まる)」→「1枚、2枚、3枚入れる」
具体的な数字で説明する
- 甘やかさず、一人の人格として接する
 - 間違っていることは、その場で違うと教える

今後の展望、目標

障がいの有無に関わらず、人と人との関わりを大切にしたい。理解できるように根気よく説明すれば、障がい者にもできることはたくさんある。あいサポートの研修や講習会ももちろん大切だが、障がい者が地域の一員として一緒に暮らせるよう、福祉作業所への業務委託や地域での雇用創出が広がってほしい。

代表者のコメント

代表取締役社長 梨原 奨



一つひとつの取り組みや社員との交流を通して、彼女も少しずつ成長してきた。「頑張るから」「ちゃんとするから」と仕事に取り組む姿勢を認識し、働く意味を分かってきたようだ。「障がいがあるからできない」と甘やかしたり突き放すのではなく、見守ることが大切。いろいろな種類の障がいがあるが、これからも自然体で受け入れ、協力体制をとっていきたい。

●問い合わせ・連絡先

TEL0857-29-0909
FAX0857-29-0903